ぐるり三多

～自治調査会だより～

2022
4
NO. 103
［発行日］
2022.4.1

【写真提供】町田市【撮影場所】恩田川さくら

Contents

4月の内容

▶2022年度　自治調査会の主な事業……2
▶オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト　2022年度事業概要…3
▶2022年度　調査研究テーマについて……4
▶オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト　市町村の取組紹介……6
昭島市　花の応援事業
調布市　オンラインによる生き物観察会
奥多摩町　森林環境整備事業
▶わたげ探偵！！こんなの調べてみました！……7
～植物園に行ってみよう～
▶多摩交流センターだより
・奥多摩セラピーウォーク……8
・東京雑学大学2022年５月講義案内……8
▶理事会を開催しました……9
▶編集後記……9
▶多摩・島しょ　とっておき歴史発見　～町田市～……10

公益財団法人
東京市町村自治調査会

2022年度　自治調査会の主な事業

2022 年度も、当調査会は、多摩・島しょ地域の市町村の広域的・共通課題の調査研究、市町村共同事業の実施・助成等を行うとともに市民交流の推進を図り、市町村の振興に寄与する事業を次のとおり実施します。

1. 調査研究事業

- 自治体におけるケアラー支援の方策に関する調査研究
- 民間事業者等との協働による行政課題の解決に関する調査研究
- 自治体におけるナッジの活用に関する調査研究
- 基礎自治体における行政評価の効果的・効率的な実施に関する調査研究
- かゆいところに手が届く！多摩・島しょ自治体お役立ち情報

※調査研究内容の概要は、本紙 4 ～ 5 ページをご覧ください。

2. 実態調査事業

- **多摩地域ごみ実態調査（毎年度実施）**
  多摩地域の自治体の清掃事業及びリサイクル事業に関する情報を調査し、基礎的かつ横断的な統計データを作成します。
- **多摩地域データブック（毎年度実施）**
  今後のまちづくりや政策形成の基礎資料として、「人口・土地」、「産業」、「都市基盤」など主要分野の統計データ集を作成します。
- **市町村税政参考資料・市町村財政力分析指標（毎年度実施）**
  多摩・島しょ地域市町村における財政力指数、経常収支比率、公債費比率等の分析指標及び市町村民税などの調定収入状況等のデータを作成します。

※ 5 ページでも紹介しています。

3. 共同事業

(1) 39 市町村共同事業

東京都市長会・東京都町村会と連携し、「多摩・島しょ広域連携活動助成事業」を実施します。

(2) オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

都内 62 市区町村が、東京のみどりの保全や温室効果ガス削減への取組において連携・共同し、市区町村や地域の特性に応じた自然環境保護、温暖化防止対策の推進を図るため、次ページの事業を特別区長会・東京都市長会・東京都町村会・（公財）特別区協議会とともに実施します。

(3) 協賛事業

島しょ地域の子どもたちを対象に毎年実施される「愛らんどリーグ（サッカー大会）」に対し協賛します。

4. 普及啓発事業

機関紙「ぐるり 39 ～自治調査会だより～」やホームページ（https://www.tama-100.or.jp）などを活用して当調査会の活動内容を周知するとともに、多摩・島しょ地域に関する情報を発信します。

また、調査研究の成果などを広く周知するために、シンポジウムを開催するとともに、2021 年度に実施した調査研究について、多摩・島しょ地域の市町村に出向いて職員向けに調査研究結果のプレゼンテーションを行う出張フォーラムを実施します。

さらに、市町村職員に向けた行政課題に関する情報提供誌「自治調査会 ニュース・レター」を発行します。

5. 広域的な市民活動支援

(1) 交流の場の提供事業

会議室、市民交流・資料室などの施設・設備を持つ多摩交流センターにおいて、広域的に市民活動を行っている団体に、会議室及び機器類などを提供します。

(2) 助成事業

① 事業助成

市町村の枠を越えた広域的市民ネットワークを形成している団体が実施する地域づくり、まちづくりにつながる活動や、市民団体が主体的に取り組んでいる西多摩地域の振興活動に対し、経費の一部を助成します。

② 活動支援

広域的な市民ネットワーク活動を新たに行いたい、発展させたい市民団体に対し、経費の一部を助成します。

(3) 共催等事業

多摩地域の広域的な市民の交流や新しい生涯教育の推進を図るため、市民団体等と共催し、ＴＡＭＡ市民塾、多摩の歴史講座、ＴＡＭＡとことん討論会などの事業を実施します。

(4) 情報発信事業

- **多摩地域に関する各種の情報を収集し、多摩交流センター市民交流・資料室において、配架・提供します。**
- **機関紙「ぐるり 39 ～自治調査会だより～」やホームページで、多摩交流センターに係る情報を発信します。**
- **「ＴＡＭＡらいふ 21」に関する記録や資料などを公開します。**

オール東京６２市区町村共同事業

みどり東京･温暖化防止プロジェクト

2022年度事業概要

オール東京６２市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」は、東京で暮らす私たちにとって大きな課題である温室効果ガスの削減やみどりの保全について、東京都内の全 62 市区町村が連携・共同して取り組む事業です。62 市区町村の共同の輪を大きく広げることによって、各市区町村や地域の特性に応じた自然環境の保護、地球温暖化対策を推進します。

スタートから 16 年目となる 2022 年度は、2021 年度に引き続き、近年の環境情勢や国の環境施策の動向等を踏まえながら、次の６つの事業を実施します。

【2022 年度事業】

①標準算定手法による温室効果ガス排出量算定の共有化推進	○62市区町村の温室効果ガスの排出量を算定し、その結果を公表します。 ○各市区町村のデータ活用を支援します。
②各団体の実施する事業との連携	○62市区町村の実施事業に、１市区町村100万円を限度として助成します。 ○市区町村の成果をホームページ「ECOネット東京６２」上で PR します。
③ホームページの維持管理	○プロジェクトの取組や 62市区町村の環境事業などを紹介する HP「ECOネット東京６２」を運営し、事業の普及・啓発を行います。
④気候変動対策に関する調査研究	○「脱炭素」を目指す「緩和策」と「適応計画」策定に向けた「適応策」の両面について、62市区町村が実効性のある取組を推進できるよう研究面から支援を行います。
⑤オール東京 62 環境担当者研修会	○市区町村の現状やニーズを踏まえ、複数のテーマを設定し環境分野の知見等に関する研修を行います。 ○情報共有の場の設定、市区町村の職員が参加しやすいようリモート方式等の活用を行います。
⑥市区町村等主催イベントでの PR、普及啓発展示	○62市区町村等が主催するイベント等で、プロジェクトの事業の PR や CO_2 削減・地球温暖化防止につながる活動の普及啓発を行います（15回程度/年）。

この事業は、（公財）東京都区市町村振興協会からの助成金により、主催＝特別区長会・東京都市長会・東京都町村会、企画運営＝（公財）特別区協議会・（公財）東京市町村自治調査会で実施しています。

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

詳しくは、
みどり東京・温暖化防止プロジェクトのホームページ
「ECO ネット東京６２」をご覧ください！
https://all62.jp/
みどり東京　検 索

2022年度

調査研究テーマについて

当調査会では、多摩・島しょ地域の市町村の広域的・共通的課題を中心に、年度毎にテーマを複数選定し、調査研究を実施しています。調査研究報告書は、多摩・島しょ地域の市町村などに配布するとともに、ウェブサイト（https://www.tama-100.or.jp）にも掲載し公開しています。

2022 年度については、４件の調査研究実施を予定しており、今回はその概要を紹介いたします。

自治体におけるケアラー支援の方策に関する調査研究

ケアラーとは、「高齢、身体上又は精神上の障害又は疾病等により援助を必要とする親族、友人その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を提供する者」（埼玉県ケアラー支援条例）とされています。その問題として、先が見えない状況の中で、介護や看護等を行う者の社会的な孤立に加え、心身の健康、就業や学業等にも影響する可能性があることから、ケアラーに対する自治体の支援の重要性が高まっています。

本調査研究では、基礎自治体においてケアラーの支援体制をどのように構築していくか、道筋を示すことを目指します。

民間事業者等との協働による行政課題の解決に関する調査研究

自治体の経営資源が限られる中、複雑化･多様化する地域課題を解決するために、行政と民間事業者、大学等が共同で公共サービスの提供などを行う公民連携の必要性が増しています。

一方で、施策立案や事業実施にあたり、各自治体が民間事業者や大学等のアイデアを十分に活用できず、自治体としての検討の幅が狭くなっている可能性があります。

本調査研究では、PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ：公民連携）として民間事業者や大学等と協働することによる、行政の発想では考えつかないアイデアを活用した地域課題の解決のあり方、連携手法、それによる効果を幅広く示すことを目指します。

自治体におけるナッジの活用に関する調査研究

ナッジ（nudge:そっと後押しする）とは、行動科学の知見（行動インサイト）の活用により、「人々が自分自身にとってより良い選択を自発的に取れるように手助けする政策手法」のことを指し、欧米をはじめ、わが国においても政策のオプションとして取り扱われています。

一方で、ナッジの活用においては、倫理的注意が必要なことや EBPM（証拠に基づく政策立案）の観点が重要であることなど、多くの留意点があります。

本調査研究では、ナッジ等行動インサイトの考え方や手法などを解説することで職員の理解を促進しつつ、多摩・島しょ地域でのナッジ浸透の状況を踏まえた導入の手助けとなる内容とすることを目指します。

基礎自治体における行政評価の効果的・効率的な実施に関する調査研究

行政評価は成果を見える化し、事業の改善や住民へのアカウンタビリティ（説明責任）を確保する上で重要なものであるため、実施により高い効果が出ることを期待されています。また、計画策定の努力義務等を課す法律が増える中、自治体の人的資源には限りがあるため、効率的に行うことも重要となっています。

一方で、行政評価を行っている多くの自治体では、評価そのものの実効性の乏しさや評価業務の負担感の大きさからくる、いわゆる「評価疲れ」に陥っている可能性があります。

本調査研究では、行政評価の実施目的に沿った効果的な行政評価を行うことを前提としつつ、評価疲れの解消につながる実施方法や小規模自治体における行政評価等、自治体が行政評価に対して抱える課題の解消につながる提案を行うことを目指します。

毎年度調査

当調査会では、上記の単年度調査研究に加え、39 市町村における行財政運営の参考となるように、各種統計資料を毎年度作成しています。

2022 年度についても、以下のデータ集を作成し、上記の単年度調査研究と同様に配布・公開する予定です。

○多摩地域ごみ実態調査

多摩地域の清掃事業及びリサイクル事業に関する情報を調査し、基礎的な統計データ集を作成します。

○多摩地域データブック

今後のまちづくりや政策形成など行政運営上の基礎資料として、「人口・土地」「産業」「都市基盤」など主要な統計データ集を作成します。

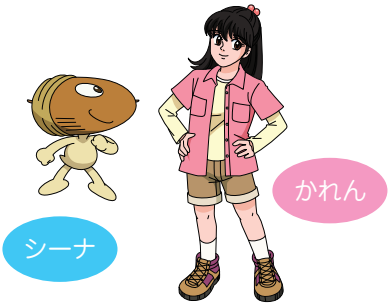
○税・財政参考資料

39 市町村における、財政力指数・公債費比率・経常収支比率等の分析指標及び市町村税徴収実績等のデータ集を作成します。

オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村の取組紹介



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された取組を紹介します。

① 昭島市　花の応援事業

昭島市では、例年６月と 10月に駅や市役所、公園や学校等の公共施設の花壇に市民ボランティアや小中学校の児童・生徒たちと一緒に季節ごとの花を植える「花の応援事業」を実施しています。

６月はマリーゴールドやポーチュラカ、10月はパンジーやアリッサムなど、季節ごとの花を植え、市内各所を彩りました。皆様も昭島市を訪れた際は、みんなで心を込めて植えた綺麗な花々をご覧ください。

【問合せ先】昭島市 環境課　TEL 042-544-5111

② 調布市　オンラインによる生き物観察会

◀夜の生き物観察会の当日の様子はこちら

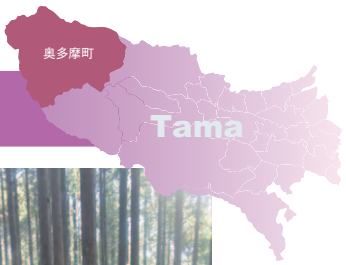
◀野生動物観察会の当日の様子はこちら

調布市では、生物多様性の保全や、自然共生社会の形成に向け、楽しみながら環境を学び、興味・関心を高めてもらう環境学習のイベントを行っています。

2021年度は、コロナ禍の中でも気軽に参加できるよう、７月には「おうちで夜の生き物の世界をのぞいてみよう」、11月には「おうちで調布市内の野生動物を観察しよう」を企画し、オンラインで開催しました。当日は、観察できた昆虫類や野生動物の解説、視聴者から寄せられた質問へ回答する様子をライブ配信しました。

【問合せ先】調布市 環境政策課　TEL 042-481-7086

③ 奥多摩町　森林環境整備事業



奥多摩町は、東京都のおよそ 10分の１の面積に相当する 225.53km^{2}の行政面積を有し、その約94%が山林であり、町全体が秩父多摩甲斐国立公園の中にある豊かな自然に恵まれた「巨樹と清流のまち」です。この豊かな自然を後世に永く引き継いでいくために、町では環境の保全や資源循環型社会づくりを目的とした事業を実施しています。特に、森林の水源涵養・地球温暖化ガスの吸収効果の向上及び花粉症発生源の抑制や保健休養機能の向上を図るため、スギ・ヒノキ等の人工林の間伐・枝打ち作業を継続的に実施しています。

【問合せ先】奥多摩町 企画財政課　TEL 0428-83-2360

わたげ探偵!!こんなの調べてみました!

～植物園に行ってみよう～

◎不定期掲載

多摩・島しょ地域※には、隠れた魅力や知られざる不思議がたくさんあるんだ！今回は多摩地域の植物園をわたげが訪問してどんな魅力があるか調査してみたよ♪

神代植物公園（調布市）

アガベ・チタノタ

園内はばら園、つつじ園、うめ園、はぎ園をはじめ、植物の種類ごとに 30 ブロックに分けてられていて、約 4,800 種類、10 万本もの草木が植栽されて季節ごとに異なる花を見ることができるよ。園には京王線調布駅や JR 中央線三鷹駅からバスでアクセスできるほか有料駐車場も併設されているよ。

黒士冠

園の最大の見どころはばら園で、春（5 月～7月）と秋（10 月～ 11 月）の年 2 回バラが最盛期だよ。
16 ヘクタールの広大な敷地に見渡す限りのバラが咲く様子は圧巻だよ。

キング・オブ・サイアム

平成 28 年 5 月にリニューアルされた大温室で珍しい花を見つけたよ。あの映画のキャラクターにそっくりな「アリストロキア・サルヴァドレンシス」。地際で咲いているので見逃さないでね。

大温室では生涯 2 枚の葉を展開しつづける「奇想天外」という珍しい植物や人気の多肉植物「アガベ・チタノタ」や「アザラシ」「入鹿（いるか）」といった面白い名前のサボテンもみられて興味が尽きないよ。

金鯱

小笠原村の植物を保護する機能も担っているのがここ「小笠原植物室」で、写真の植物は小笠原諸島固有種「オガサワラビロウ」というヤシだよ。

砂漠のバラ

黒王丸

ちょうどブドウのような実がたわわに実っていたよ。

象牙の宮

東京都薬用植物園（小平市）

西武拝島線東大和市駅から徒歩 2 分の好立地に全国的にも珍しい薬用植物を収集、栽培する薬用植物園があるよ。

現在は違法ドラッグや健康食品の指導・取締りに向けた植物鑑別などの試験や研究をするかたわら、園内を一般に公開して定期的に薬草教室などを開催して薬用植物の普及、啓発をしているんだって。

写真の果実はカカオで、温室で見ることができるよ。
種はご存じのチョコレートの原材料として利用されるほか、座薬の製剤用基材としても利用されるんだ。

サフランライスで有名なサフランも実は薬として利用されるんだ。ヨーロッパでは鎮静剤として、日本では冷え性の改善に温湯で服用するんだって。

◆今回紹介した施等の最新情報は各施設のホームページなどでご確認ください。
◆コロナ禍により開園時間の変更、入園制限が発生する可能性がありますので、ご利用の際は事前に各施設のホームページなどでご確認ください。

※ 多摩地域：東京都のうち、23区と島しょ地域を除く全域のこと。
島しょ地域：大島・利島・新島・式根島・神津島・三宅島・御蔵島・八丈島・青ヶ島・父島・母島のこと。

多摩交流センターだより

イベント紹介

奥多摩セラピーウォーク

日　　時　2022年4月29日（金・祝）9：00～11：00（荒天の場合中止あり）
受付場所　奥多摩駅前
コ ー ス　JR奥多摩駅～奥多摩むかしみち～奥多摩湖（10km　4時間）
内　　容　奥多摩むかしみちは、都内で初めて森林セラピー基地として認定された奥多摩町にある５つのセラピーロードのうちの１つで、今も随所に昔そのままの姿が残されています。奥多摩駅をスタートし、昔をしのびながら、ゴールである奥多摩湖をめざして新緑あふれる奥多摩の自然を満喫できるコースです。参加者には、コース途中で奥多摩名人・達人ガイドたちによる名所案内、ゴールとなる奥多摩湖では物産展とクラフトフェアも開催され、あわせて楽しんでいただけます。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、内容変更、中止となる可能性があります。最新の状況は、上記ホームページを確認いただくか、事務局へお問い合わせください。

参 加 費　500円（受付時に支払い、保険料含む）※事前予約不要
主　　催　奥多摩セラピーウォーク実行委員会
問 合 せ　奥多摩セラピーウォーク実行委員会事務局（奥多摩町役場観光産業課内）
TEL　0428-83-2295 ／ FAX　0428-83-2344
ホームページ　http://www.town.okutama. tokyo.jp

特定非営利活動法人
東京雑学大学

※受講の際は、必ずマスク着用のこと！

2022年5月講義案内

受講料　会員無料・会員外は１回につき 500 円

日　時	講義テーマ	教　授	教　場
5月5日(木) 14:00から	忘れるな“モリカケサクラ”	小川　千代子　氏 （国際資料研究所・元藤女子大学教授）	田無公民館 （西武新宿線田無駅南口　徒歩３分）
5月12日(木) 14:00から	志賀直哉の動物小説 －没後五十年にあたって－	大和田　茂　氏 （日本近代文学研究者・元法政大学講師）	小金井市市民会館「萌え木ホール」 （JR 武蔵小金井駅南口　徒歩７分 小金井商工会館 3F）
5月19日(木) 14:00から	生物の“名前”について考えてみよう	三島　次郎　氏 （桜美林大学名誉教授）	田無公民館 （西武新宿線田無駅南口　徒歩３分）
5月26日(木) 14:00から	暮らしに生かすハーブのチカラ	阿部　啓子　氏 （ハーブスクール講師）	小金井市市民会館「萌え木ホール」 （JR 武蔵小金井駅南口　徒歩７分 小金井商工会館 3F）

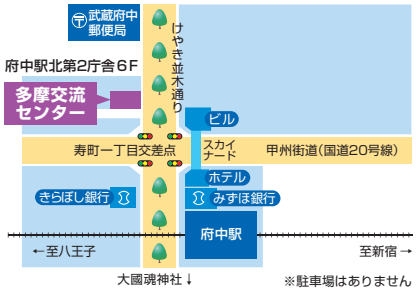
☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。
［問合せ先］TEL 042-465-3741（浅田）　TEL 0422-52-0908（菅原）　東京雑学大学ホームページ　http://t-zd.life.coocan.jp

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、５月講義を中止させていただく場合があります。
詳しくは東京雑学大学までお問い合わせいただくか、東京雑学大学のホームページをご覧ください。

「多摩交流センターだより」の問合せ先

（公財）東京市町村自治調査会　多摩交流センター
〒183-0056 府中市寿町 1-5-1 府中駅北第２庁舎 6F
TEL 042-335-0100　　FAX 042-335-0127
ホームページ　https://www.tama-100.or.jp
（当調査会ホームページ内にコンテンツがあります）

☆ 多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



理事会を開催しました

2022年2月25日（金）に、2021年度第4回理事会を東京自治会館で開催しました。今回の理事会で決議された主な内容を紹介します。

1. 2022年度事業計画及び収支予算

本紙の2ページから3ページにかけて紹介しました自治調査会の主な事業の計画と、その実現に必要な収支予算が承認・決定されました。

2. 諸規則の改正

出生サポート休暇制度を整備するため就業規則の改正を提案し、原案のとおり承認・決定されました。また、組織改正に伴い事務局規則の改正を提案し、原案のとおり承認・決定されました。

なお、2月25日現在の理事・監事・評議員は下記のとおりです。

【役員】

役　職	氏　名	所　属
理事長	石阪丈一	町田市長
副理事長	杉浦裕之	瑞穂町長
常務理事	小暮　実	東京都市長会事務局長
理　事	清水庄平	立川市長
理　事	松下玲子	武蔵野市長
理　事	浜中啓一	青梅市長
理　事	加藤育男	福生市長
理　事	松原俊雄	狛江市長
理　事	田村みさ子	日の出町長
理　事	村山将人	利島村長
監　事	坂本義次	檜原村長

【評議員】

役　職	氏　名	所　属
評議員	河村　孝	三鷹市長
評議員	臼井伸介	昭島市長
評議員	長友貴樹	調布市長
評議員	西岡真一郎	小金井市長
評議員	渡部　尚	東村山市長
評議員	尾崎保夫	東大和市長
評議員	阿部裕行	多摩市長
評議員	髙橋勝浩	稲城市長
評議員	村木英幸	あきる野市長
評議員	青沼邦和	新島村長
評議員	前田　弘	神津島村長
評議員	山下奉也	八丈町長

編集後記

○　出会いや新たなスタートの季節、4月です。新社会人となった方や人事異動で新ポストに就いた方など様々な形で新生活をスタートさせた方も多いと思います。当調査会も異動により新しい体制となりましたが、気持ちも新たに事業に取り組んでまいります。

○　ところで、今年の冬は寒かった印象を受けた方が多かったのではないでしょうか。昨年秋に発生したラニーニャ現象の影響で寒気が日本付近に流れ込み、また、太平洋上を通過する南岸低気圧により都内でも何度か降雪に見舞われました。近年、暖冬傾向が続く中、余計寒く感じられたのではないかと思います。

○　しかし、寒い冬は、桜にとっては良い効果をもたらします。夏に作られる桜の花芽は、秋から冬にかけ、冬眠に似た休眠状態になりますが、眠りに入った花芽は一定の低温にさらされると休眠から覚め（休眠打破）、春に向けて気温の上昇とともに生長し始めます。暖冬の昨今は、花芽がしっかりした寒さにさらされないまま春を迎える場合もあり、休眠からの目覚めがおそく開花が遅れることも多いようです。全国的に寒かった今年は、しっかり休眠打破が行われ、桜前線に合わせ、一斉に咲き誇る満開の桜が見られそうです。多摩地域には桜の名所がいくつかあります。私は、奥多摩方面に出かけ、散策しながら桜を楽しんできたいと思っています。

○　一方で、寒かった冬とは裏腹に、地球温暖化は確実に進行しています。日本をはじめ多くの国々が2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ（脱炭素）を目指した取組を加速化させていますが、実現するには非常に高いハードルともいわれています。持続可能な地球環境を維持するため、国や自治体、民間企業、そして住民が一体となって取り組んでいくことが求められます。当調査会で取り組んでいる「気候変動に関する調査研究」は2年目を迎えます。自治体が抱える「脱炭素」及び「緩和策」に関する課題解決に向けた調査研究を実施し、市町村を支援していきたいと考えています。

○　年始から猛威を振るったオミクロン株による第6波は下火となってきましたが、未だ収束の目途は立っていません。一方で、発生から3年目となり、ワクチン接種や治療薬も開発され、社会全体としてはウィズ・コロナ、ポスト・コロナといったウイルスと共存しながら経済活動を行っていく方向に軸足が置かれてきています。このような流れのなかでは、一人ひとりが感染症拡大防止の自覚を持った行動が非常に重要であり、医療従事者への負担軽減にもつながっていくことになります。

○　当調査会では、これまで2年間の感染防止対策の経験に改善を加えながら、引き続き、事業を通じて、市町村の振興や市民活動への支援などに取り組んでまいります。本年度もどうぞよろしくお願いします。　（K．K）

多摩・島しょ とっておき歴史発見

history of tama & tōsho

第13回 町田市

身近な場所で歴史を発見！今回はわたげのボクが
『小野路宿里山交流館』と『高ヶ坂石器時代遺跡（八幡平遺跡）』を紹介するよ。

小野路宿里山交流館

多摩丘陵の原風景を残す町田市北部の小野路地域にあり、里山を散策する方の休憩施設で、歴史・自然・文化にふれあう拠点となっているよ。

江戸時代、小野路宿にあった旅籠・旧「角屋」を改修したもので、江戸時代の旅籠の雰囲気を感じながら、のんびり過ごすことができるんだ。

地粉を使った小野路うどんや季節のお食事、新鮮野菜や加工品などのお買い物も楽しめるよ。

国指定史跡 高ヶ坂石器時代遺跡（八幡平遺跡）

高ヶ坂石器時代遺跡は日本で初めて縄文時代の敷石住居跡が発見された遺跡で、牢場遺跡・稲荷山遺跡・八幡平遺跡の3地点から構成されているよ。

八幡平遺跡は標高約86ｍの丘陵の頂部に位置し、縄文時代中期の敷石住居跡が発見されたんだ。現在は埋め戻されて保存されていて、実物を見ることはできないけど、遺構の様子が埋め戻した場所の上に再現されているんだ。

【現地案内】

◆小野路宿里山交流館

・小田急線鶴川駅５番乗り場から小野路経由多摩センター駅行き、又は町田バスセンター行きバスで「小野神社前」下車、徒歩２分

◆高ヶ坂石器時代遺跡（八幡平遺跡）

・小田急線町田駅南口より徒歩20分
・町田バスセンター８番乗り場から高ヶ坂団地行きバスで「団地入口」下車、徒歩３分

【情報・写真提供】
町田市観光まちづくり課　TEL 042-724-2128

【情報・写真提供】
町田市生涯学習総務課文化財係　TEL 042-724-2554

本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。　問合せフォーム▼

【発行日】2022年４月１日　【発行】公益財団法人　東京市町村自治調査会　【責任者】小暮　実
〒183-0052　東京都府中市新町2-77-1　東京自治会館４F　TEL 042-382-0068
ホームページ　https://www.tama-100.or.jp（本紙のバックナンバーをご覧いただけます。）

VEGETABLE OIL INK
再生紙を利用しています